



平成 28 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ナ ッ ク
代 表 取 締 役 社 長 吉 村 寛
(コード番号 9788 東証第 1 部)
問 合 せ 先 コーポレートファイナンス本部長 川上 裕也
(TEL. 03-3346-2111)

平成 28 年 3 月期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期連結業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	89,500	1,600	1,600	700	41.71
今 回 修 正 予 想 (B)	80,500	800	780	300	17.80
増 減 額 (B - A)	△9,000	△800	△820	△400	
増 減 率 (%)	△10.1	△50.0	△51.3	△57.1	
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 3 月期)	85,443	1,517	1,481	519	31.09

修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間の実績に加え第 4 四半期連結会計期間の見通しを踏まえ、平成 27 年 5 月 8 日公表の通期連結業績予想を修正いたします。

業績予想の修正に至る主な要因となった住宅事業においては、平成 27 年 3 月期において消費増税の駆け込み需要後の反動減の影響により大きく落ち込みましたが、住宅市場の緩やかな回復基調や新商品の投入、関西エリアへの進出などの施策を図ることによる業績回復を見込んでおりました。しかしながら、当社の主要顧客である一次取得者層においては需要回復が鈍く、売上高は当初予想 46,400 百万円に対し 37,700 百万円と予想を大きく下回り、その結果、損益分岐点を越えられず 390 百万円営業赤字（当初予想 900 百万円）となる見込みです。

クリクラ事業においては、直営部門で今期の主要施策「クリクラミオ」が堅調に推移し、ワンウェイ業者への顧客流出回避に寄与し、顧客数は微増したものの、最大の需要期である夏場の天候不順によりボトルの消費が大きく伸び悩みました。また、加盟店の顧客数が低調であったことによりウォーターサーバーの売上が伸びず、今期から計上している本庄工場の減価償却による営業利益の減少を補うことができませんでした。その結果、通期の売上高は当初予想 14,000 百万円に対し 13,100 百万円に止まり、220 百万円の営業赤字（当初予想±0）となる見込みです。

また、第 4 四半期連結会計期間について、通販事業は当初予想どおり、レンタル事業と建築コンサルティング事業については引き続き当初予想を大きく上回り好調に推移することを見込んでおります。収益率が高い建築コンサルティング事業部ノウハウ販売部門においての地道な営業活動による売上高の増加を見込んでおり、その他事業においては販管費の削減を推進しております。しかしながら、低調に推移した住宅事業における現時点での着工状況・受注状況、クリクラ事業における顧客数の推移等を踏まえ、両事業の落ち込みをカバーしきれないため、通期連結業績について売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも予想を下回る見込みです。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成 27 年 5 月 8 日発表)	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 39.00
今回修正予想	—	—	—	19.00	38.00
当期実績	—	19.00	—	—	
前期実績 (平成 27 年 3 月期)	—	20.00	—	18.00	38.00

修正の理由

配当方針の「連結純資産配当率 4%」を基準に、期末配当額は 1 株当たり 20 円を予定しておりましたが、通期業績予想の修正により連結純資産額が予想を下回る見込みとなりましたので 1 株当たり 19 円に修正いたします。これにより年間配当金は 38 円となる予定です。

以 上